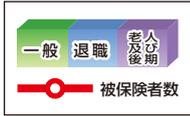
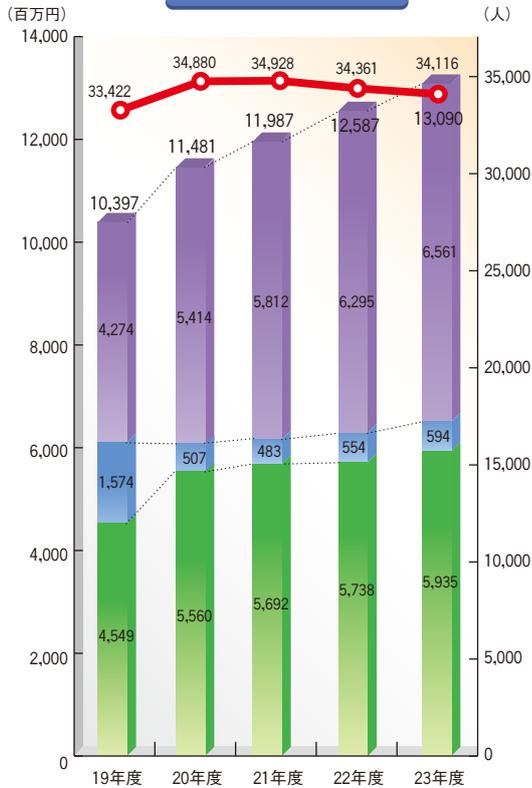


真岡市

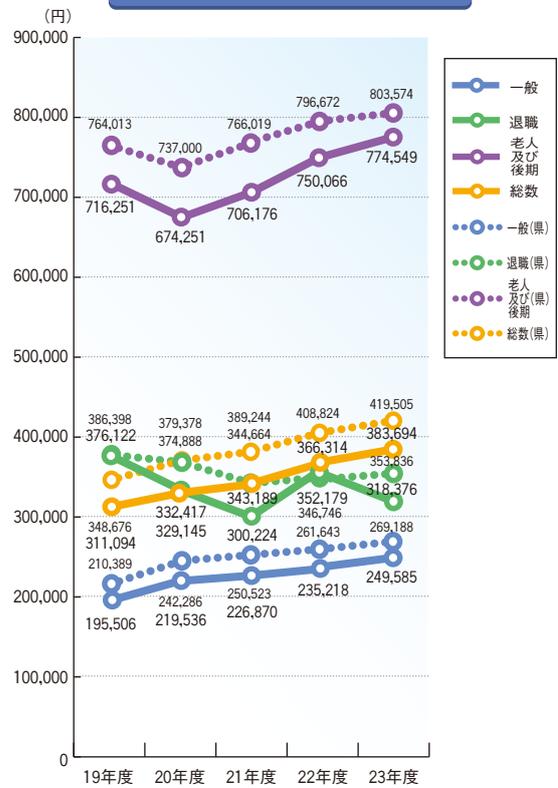
真岡市



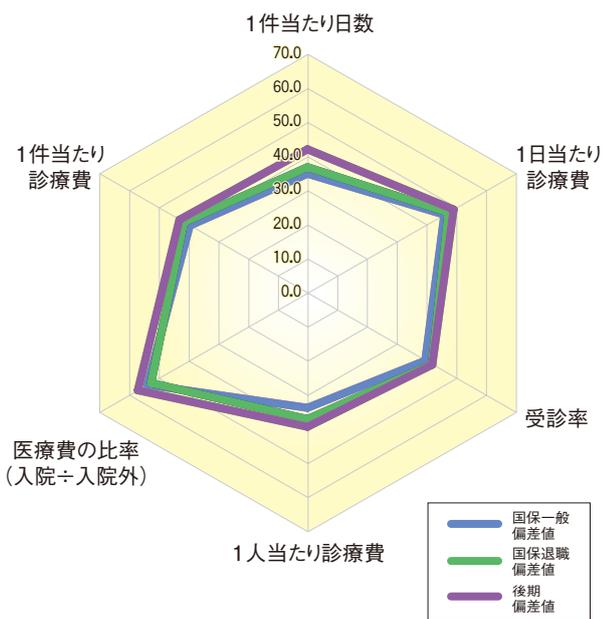
医療費の推移



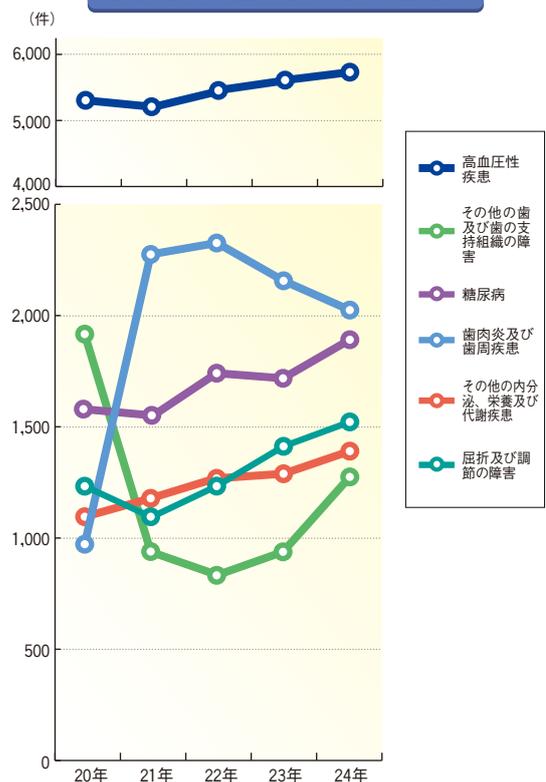
1人当たり医療費の推移



平成23年度 3要素と医療費諸費(県平均との比較)



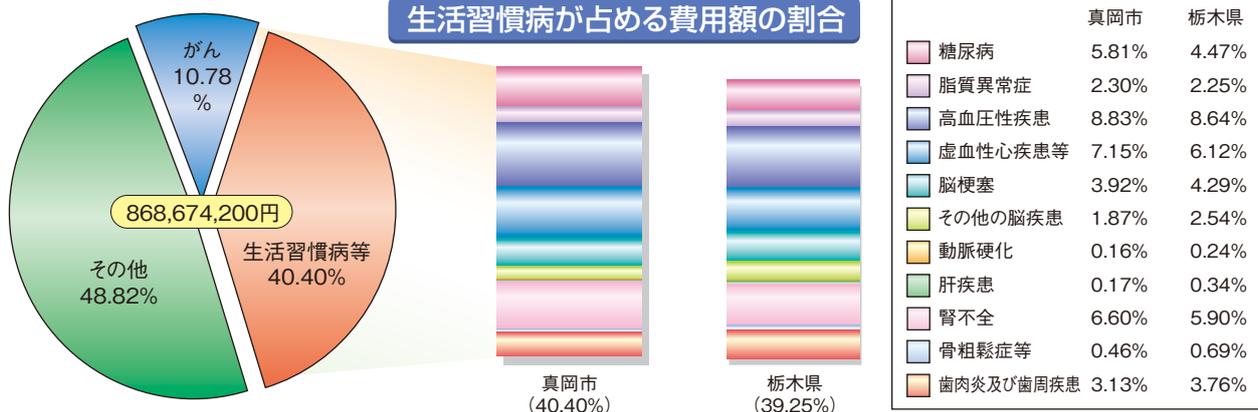
多受診疾病上位6位の推移



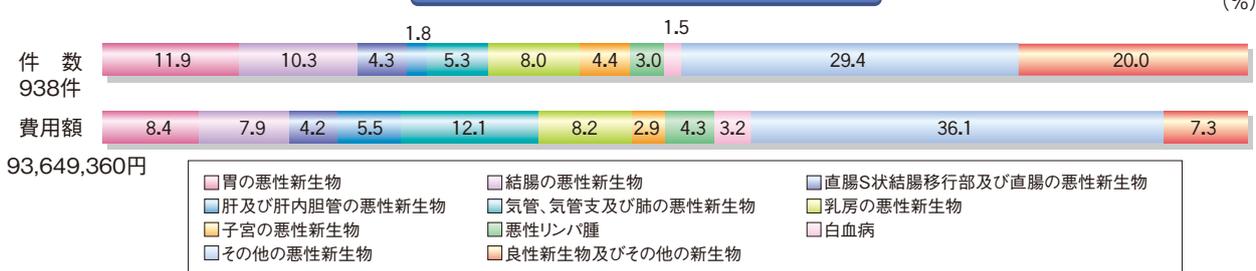
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



真岡市の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成23年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般5,935,137千円(103.4%)、退職593,770千円(107.2%)、後期6,561,207千円(104.2%)で、全体では13,090,115千円(104.0%)と増加している。()は前年度との比較。

平成23年度平均被保険者数は34,116人で、内訳は一般23,780人、退職1,865人、後期8,471人である。前年度と比較すると全体で99.3%と減少している。

また、平成23年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は383,694円(17,380円増)、一般は249,585円(14,367円増)、退職は318,376円(33,803円減)、後期は774,549円(24,483円増)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、医療費の比率以外は、いずれの法別も平均を下回る偏差値となっている。特に1人当たり診療費は低い値となっている。

★疾病の状況

平成24年5月診療分において件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位屈折及び調節の障害、5位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、6位その他の歯及び歯の支持組織の障害で、中でも5位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患は増加傾向にあり、平成20年と比べ件数・費用額共に1.2倍になっている。

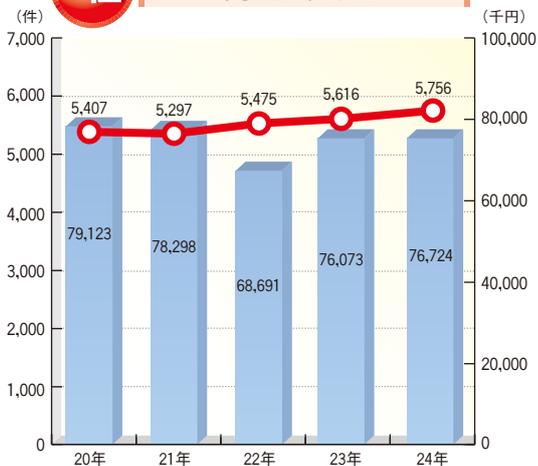
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、5大生活習慣病が占める構成比は、虚血性心疾患、脳卒中を除き、県全体と比べ高くなっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成24年5月診療分の総費用額が868,674,200円で、がんが10.78%、生活習慣病関連が40.40%を占めている(県全体 がん11.84%、生活習慣病関連39.25%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患8.83%、虚血性心疾患等7.15%、腎不全6.60%となっている。

がんの部位別の件数及び費用額の割合では、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、費用額では、気管、気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6の年次推移

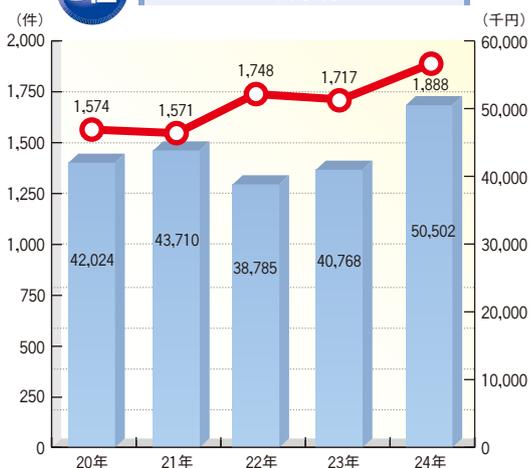
1位 高血圧性疾患



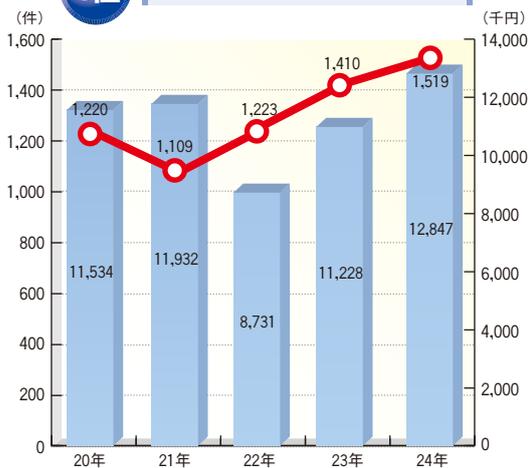
2位 歯肉炎及び歯周疾患



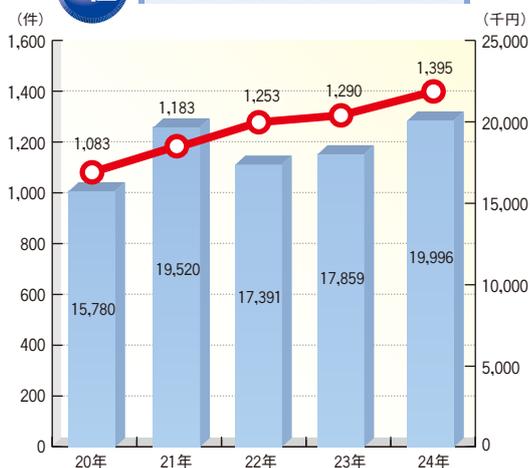
3位 糖尿病



4位 屈折及び調節の障害



5位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



6位 その他の歯及び歯の支持組織の障害

